

ほっと

NPO法人 ほっと会報

〒590-0048

堺市堺区一条通19-13 上桢ビル2階

☎ 072-228-3011 FAX 072-228-3012

E-mail npo-hot@nifty.com

NO. 73 発行: 2025年(令和7年) 8月8日



ほっとHP

あなたも生活支援員になりませんか！

ほっと第4回生活支援員交流会を開催しました



ほっとの生活支援員は 障がい者家族の立場で支援します

8月1日、新しい生活支援員のお誘いを兼ねて、ほっと第4回生活支援員交流会を開催しました。

生活支援員7人に加え、呼びかけに応え参加して頂いた2人と事務局2人の計11人で、生活支援員活動の状況を交流しながら、今後の活動に生かそうと話しました。

まず、自己紹介を兼ねてお互いの状況を出し合いました。

(Aさん)

・昨年からは生活支援員をさせて頂いている。Bさんから頼まれて「お試し」で始めたんですが、いろいろぶつかり悩みながら職員に相談しながらやっ

ています。自分の子どもにあてはめて生活支援員をしています。

(Cさん)

・私は、まだ支援員をしていません。

・これまで、私が家族後見をしていましたが、この8月からほっとに後見をお願いすることに。

・子どもから少し手が離れるので、さみしさもあり入った時と同じような気持ちです。

・物を壊したり、声を上げたりして大変だと思いますが、本人の気持ちに寄り添ってほしい。

・何よりも、同じ障がい者のお母さん方が、生活支援員をしてくれていることがありがたい。

(Dさん)

・私も生活支援員をしています。まず話しを聞きたい。

・何しろ、グループホームに入りたい。うちの子どもは、知的、身体、糖尿もあり、民間のホームでは、「医療的ケア」が

必要な人は断られてる。

・ショートには行っているが、まず、グループホームに入りたい。作業所での仕事をしながら、暮らしと生活を築いていきたい。そのあとに後見をと思っています。

(Eさん)

・職員でもなく、キーパーさんでもなく同じ家族の視点で支援しているほっとの生活支援員は、大変重要だと思います。

(Fさん)

・私は長年生活支援員をしているが、行くと本人が待ってくれているし、楽しみにしてくれていることを感じます。

・グループホームのお部屋は、ご本人の自宅なので、必ず「入っていいですか？」と声をかけて入るようにしています。私たちの活動はお金の管理だけではなく、ご本人との信頼・会話を大切にしています。

(Gさん)

・時間がかかるけど、本人との信頼関係をつくることが大切だと思う。・本人はうまく話ができないだけで、分かってく

れています。

・本人の言っていることが分からない時は、「教えて」と聞き直したりします。そうするといろいろ持ってきて指さして「これこれ」と見せてくれます。

こうして、話し合いは尽きません。

**仲村事務局長がまとめ
とお願い・呼びかけ**

最後に仲村事務局長は、以下の様に述べました。

「後見活動・生活支援員には、利益相反のこともあり、福祉職員ではなく、家族の方に支援員をして頂くことにしました。

当初は、ローテーションを組んで、毎回支援員が代わるようにしていましたが、支援員からの要望で同じ担当者が行くようになりまし。このことがきっかけで、お互いの信頼関係を築けるようになったと思います。

・また、その場で判断しないで、持ち帰って事務局で相談して対応することになっています。是非多くの方に生活支援員になって欲しいと呼びかけて下さい」と強調しました。



ほっとが成年後見人となつてAさんとBさん、Cさんが仕事をしてる姿を取材させて頂くと、仕事場・ほくぶ障害者作業所を訪ねました。

みんな朝礼をし さあ、仕事開始!

朝一番、各班での朝礼からはじまります。出席者の確認。今日の予定。衛生チェック。仕事の分担の確認。お茶の当番。お昼の今日の献立(今日は、カツカレーとミニサラダ、プリン)。約束ごと。職員からの報告です。これが終わると、みんなラジオ体操。そして、「今日も仕事、頑張ろう!」と元気いっぱい声を出

して、みんな自分の持ち場について作業開始です。
**バックの袋詰め作業
みんなでやるから楽しい♪**

Aさんは、ひまわり班でお弁当のおかずバックの袋詰め作業。この仕事は、近くにあるお弁当カツの製造会社からの依頼を受けたものです。

段ボールに入った大量の材料を出してみんなが作業します。おかずバック

仲間と一緒に生き生きと 仕事をしている姿が印象的!

被後見人AさんとBさん、Cさんの職場を訪ねました。

クの外側を外して重ね、カップ入れに入れ、フタをして、テープで留め、間違いないかを計量し、袋入れをするといった何段階もの工程があり、それぞれ工程を分担して作業します。担当した人には、それぞれ自分の作業のやり方があり、こだわりがあります。

また、作業にミスがないかとチェックを担当する人もいます。依頼を受

けた仕事であるだけに、ミスや失敗は許されません。職場は、和やかな雰囲気ですがみんな真剣です。

その中でAさんは、計量の担当。回ってきたものが多すぎないか? 少ないか? を計量しチェックするので、Aさんに聞くと、「楽しい」と笑顔で語ってくれました。

また、「お茶タイム」の時に、私のためにコッ

Bさんは、マーガリンの固まりを少し小分けにして何回も何回も練りに練ることによってやわらかで滑らかでクリーミーなマーガリンになります。更に、これにふるいにかけた砂糖を入れて、また更に練り上げます。これにまた、玉子を入れて練り上げます。更にまた、ふるいにかけた小麦粉を入れて練り上げます! まあ、大変な作業です。

プにお茶を入れて持ってきてくれました。気が利くというか、優しい♪お礼を言うと、笑顔で応えてくれました。

手づくりクッキーは、 手間が大変! だからこそ、美味しい♪

もう一人のBさんは、クッキーづくりの班。ほのかに甘い香りが漂う中、二人一組でそれぞれの工程での作業をします。



何しろ、手づくりのクッキーは、大変手間がかかります。だからこそ、手

づくりの良さ、美味しいクッキーができるのかも知れません。このクッキーが、美味しいのも当然だと納得です。Bさんも、仕事は「楽しい」と笑顔でした。

根気のいる仕事 でも、笑顔に作業♪

最後に、Cさんの仕事場に。

Cさんは、アメリカンクッキーづくりの班。担当は、マーガリンを計量して小分けにする作業です。この作業が終わると、今度はクッキーに入れるためのクルミを小分けにする作業です。

いずれも、なかなか根気のいる仕事ですが、Cさんは黙々と続けておられました。声をかけると、笑顔で返してくれました。

どの班も、みんな白衣の作業着を着ており、「仕事場」っていう雰囲気です。

みんな、仲間と一緒に生き生きと仕事に励んでおられるのが印象的でした。

